



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月15日

上場会社名 株式会社 サンエー化研

上場取引所 東

コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 明広

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長兼経営企画室長 (氏名) 近江 剛 TEL 03-3241-5702

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	21,729	4.0	347	89.3	551	81.6	346	114.6
2020年3月期第3四半期	22,633	4.7	183	36.3	303	48.8	161	57.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 597百万円 (1,494.6%) 2020年3月期第3四半期 37百万円 (52.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	31.61	
2020年3月期第3四半期	14.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	35,395	18,799	49.6	1,601.26
2020年3月期	31,627	17,341	54.4	1,566.93

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 17,573百万円 2020年3月期 17,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		9.00		9.00	18.00
2021年3月期		9.00			
2021年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,600	0.3	500	175.6	700		480		43.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) シノムラ化学工業株式会社、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	11,320,000 株	2020年3月期	11,320,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	345,345 株	2020年3月期	345,345 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	10,974,655 株	2020年3月期3Q	10,974,655 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済につきましては、昨年春に発出された緊急事態宣言の解除後、政府による経済対策の効果もあって景気は持ち直しつつありました。その後の感染者数の急増を受け、旅行業・飲食業を対象とする経済対策を停止した他、年明けには緊急事態宣言を再発出するに至り、景気の先行き不透明感は一層濃くなっております。

そのような状況下、当社グループにおきましては、10月にシノムラ化学工業株式会社を子会社化したことにより産業資材セグメントの売上は増加しましたが、新型コロナウイルスの影響により機能性材料セグメントの受注の落ち込みが大きく、売上高は前年同期比で減少しました。一方、損益面については、原材料費の低減、産業資材セグメントの収益性改善、持分法による投資損失の減少等により、営業利益及び経常利益は増益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高217億29百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益3億47百万円（前年同期比89.3%増）、経常利益5億51百万円（前年同期比81.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億46百万円（前年同期比114.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	8,960百万円	41.2%	0.4%増
産業資材	6,200百万円	28.5%	12.5%増
機能性材料	6,206百万円	28.6%	20.1%減
その他	361百万円	1.7%	16.2%減
合計	21,729百万円	100.0%	4.0%減

(軽包装材料)

食品用包材の分野では、外出自粛の影響を受け、清涼飲料用パウチの受注が減少しましたが、外食に代わって内食の機会が増加したことに伴い、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の受注が増加し、増収となりました。

医薬品・医療用包材の分野では、医療機関への外来患者数の減少等により高防湿PTP包装用フィルム「テクニフィルム」の受注が減少した他、その他の医療用包材についても受注が回復せず、減収となりました。

洗剤・トイレタリー用包材の分野では、外出自粛の影響で化粧品関連の受注が減少しましたが、ハンドソープ、消毒液、液体洗剤等の詰替え用パウチの売上が好調で、増収となりました。

精密機器その他の包材の分野では、新型コロナウイルスの影響による物流の停滞によりエア緩衝材全般で受注が減少し、その他の包材も低調であったため、減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は89億60百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

(産業資材)

テープ基材等に使用される紙・布へのラミネート製品については、新型コロナウイルスの影響による物流の停滞によって梱包用テープの需要が減少したことに加え、自然災害の備えとしての養生用テープの需要一服により受注が減少しましたが、シノムラ化学工業株式会社の子会社化により、増収となりました。

剥離紙については、新型コロナウイルスの影響により、POPラベル関連その他の受注減少が続きましたが、FPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙の受注回復やシノムラ化学工業株式会社の子会社化により、増収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は62億円（前年同期比12.5%増）となりました。

（機能性材料）

粘着塗工タイプの表面保護フィルム「サニテクト」については、新型コロナウイルスの影響を受けて一般用途の受注が減少しましたが、テレワーク導入企業の増加によりパソコン向けの受注が堅調で、増収となりました。

2層押し出しタイプの表面保護フィルム「PAC」及び精密塗工タイプの表面保護フィルム「SAT」については、新型コロナウイルスの他、米国による中国企業への輸出規制強化の影響もあり、偏光板用やスマートフォン関連の受注が減少し、減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は62億6百万円（前年同期比20.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

総資産は前連結会計年度末と比べて37億67百万円増加いたしました。これはシノムラ化学工業株式会社を子会社化したことにより、現金及び預金が6億64百万円、受取手形及び売掛金が4億16百万円、電子記録債権が6億95百万円、原材料及び貯蔵品が3億36百万円及び有形固定資産が10億63百万円とそれぞれ増加したことや、株式市場の市況改善等により、投資有価証券が4億53百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

負債は前連結会計年度末と比べて23億9百万円増加いたしました。これはシノムラ化学工業株式会社を子会社化したことにより、支払手形及び買掛金が6億36百万円及び退職給付に係る負債が2億63百万円とそれぞれ増加したことや、資金調達により、長期借入金が10億60百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて14億58百万円増加いたしました。これはシノムラ化学工業株式会社を子会社化したことにより、非支配株主持分が10億81百万円増加したことや、投資有価証券の時価の増加により、その他有価証券評価差額金が2億12百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案した結果、2020年11月9日に発表した通期の連結業績予想を変更いたしました。詳細につきましては、本日（2021年2月15日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,341,793	7,006,132
受取手形及び売掛金	8,553,197	8,969,639
電子記録債権	1,788,387	2,483,404
商品及び製品	1,284,239	1,364,392
仕掛品	1,418,106	1,333,699
原材料及び貯蔵品	572,120	908,950
その他	141,821	113,883
貸倒引当金	△24,261	△32,309
流動資産合計	20,075,404	22,147,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,159,059	3,251,026
機械装置及び運搬具(純額)	1,178,647	1,313,561
土地	1,947,520	2,782,938
その他(純額)	234,959	236,012
有形固定資産合計	6,520,187	7,583,538
無形固定資産	27,788	50,460
投資その他の資産		
投資有価証券	4,197,610	4,651,024
退職給付に係る資産	716,430	741,878
その他	282,137	333,668
貸倒引当金	△191,852	△113,124
投資その他の資産合計	5,004,325	5,613,446
固定資産合計	11,552,301	13,247,445
資産合計	31,627,706	35,395,238

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,144,836	3,780,857
電子記録債務	3,003,894	3,192,859
短期借入金	4,120,000	3,520,000
未払法人税等	41,730	29,335
賞与引当金	428,100	243,748
役員賞与引当金	7,050	1,988
その他	1,557,847	2,299,465
流動負債合計	12,303,458	13,068,254
固定負債		
長期借入金	355,625	1,416,350
役員退職慰労引当金	119,402	133,439
債務保証損失引当金	250,498	250,498
退職給付に係る負債	554,851	818,350
資産除去債務	105,450	105,940
その他	596,991	802,584
固定負債合計	1,982,818	3,527,162
負債合計	14,286,277	16,595,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,136,756	2,136,756
利益剰余金	11,787,228	11,936,632
自己株式	△116,042	△116,042
株主資本合計	15,983,943	16,133,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,426,215	1,639,191
為替換算調整勘定	△45,067	△46,151
退職給付に係る調整累計額	△168,476	△153,109
その他の包括利益累計額合計	1,212,670	1,439,930
非支配株主持分	144,814	1,226,544
純資産合計	17,341,428	18,799,821
負債純資産合計	31,627,706	35,395,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	22,633,405	21,729,031
売上原価	20,157,992	19,118,362
売上総利益	2,475,413	2,610,668
販売費及び一般管理費	2,291,904	2,263,308
営業利益	183,508	347,360
営業外収益		
受取利息	9,886	5,855
受取配当金	127,685	121,269
作業くず売却益	35,472	11,419
クレーム収入	18,347	—
補助金収入	37,719	2,175
雇用調整助成金	—	93,018
その他	27,248	34,811
営業外収益合計	256,360	268,549
営業外費用		
支払利息	17,475	20,838
持分法による投資損失	100,322	—
支払補償費	—	456
為替差損	11,906	39,332
その他	6,344	3,518
営業外費用合計	136,048	64,146
経常利益	303,820	551,763
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4,197
特別損失合計	—	4,197
税金等調整前四半期純利益	303,820	547,566
法人税、住民税及び事業税	25,594	62,930
法人税等調整額	112,126	114,184
法人税等合計	137,721	177,115
四半期純利益	166,099	370,451
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,409	23,504
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,689	346,946

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	166,099	370,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,135	213,258
為替換算調整勘定	△8,197	△1,084
退職給付に係る調整額	3,044	15,367
持分法適用会社に対する持分相当額	△28,309	—
その他の包括利益合計	△128,598	227,541
四半期包括利益	37,500	597,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,011	574,206
非支配株主に係る四半期包括利益	4,489	23,786

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	8,924,946	5,510,615	7,766,724	22,202,286	431,119	22,633,405
セグメント利益又は損失 (△)	217,122	△412,653	387,672	192,141	△8,633	183,508

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	8,960,427	6,200,206	6,206,959	21,367,593	361,438	21,729,031
セグメント利益又は損失 (△)	304,454	△246,870	290,107	347,691	△331	347,360

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の解散及び清算)

当社は、2021年2月15日開催の取締役会において、子会社である株式会社ペンリードの解散を決議いたしました。

1. 解散及び清算の理由

株式会社ペンリードは次世代のペン先を有する筆記具として、ペン先ユニットやペンを販売していましたが、新型コロナウイルスの世界的流行から海外及び国内の筆記具メーカーへの販売が計画通り進まず、業績が悪化しておりましたので解散することといたしました。

2. 当該子会社の名称、事業内容及び持分比率

商号	株式会社ペンリード
所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
代表者	山中 鎮雄
事業内容	筆記具及びその関連部品の製造並びに販売
設立年月日	2018年1月22日
資本金	80百万円
持株比率	当社55%

3. 解散及び清算の時期

- (1) 2021年2月15日 当社取締役会決議
- (2) 2021年3月31日(予定) 当該子会社の臨時株主総会による決議
- (3) 2021年5月31日(予定) 解散日
- (4) 2021年10月31日(予定) 清算終了

4. 当該子会社の状況(2020年12月31日現在)

資産総額	130百万円
負債総額	331百万円

5. 当該事象による損益の影響

会社解散の決定に伴い2021年3月期決算(連結)において、たな卸資産評価損8百万円、減損損失66百万円を計上する見込みです。

6. 当該事象による営業活動等へ及ぼす重要な影響

当該解散及び清算に伴う当社グループの営業活動等に及ぼす重要な影響はありません。